

7回アートバス

夢中熱中青春ライフ!

アートパーゴラ

35

きれいな風景に出会うと、そのまま絵に描けたらどんなに素晴らしいだろうと思うことがあります。また、展覧会などで、一枚の絵に心を奪われてしまったという経験はありませんか。今回ご紹介するのは「アートパーゴラ」という絵のグループ。事務局長を務める伊藤桂子さんにお話を伺いました。

感動をそのまま

カンバスに

「アートパーゴラ」は、昭和五十年に中央公民館の油絵教室に集まった仲間たち二十人ぐらいで始めた「四季彩会」が前身なんです。転勤などの理由で会員が減少し一時中断していたん



製作中の「アートパーゴラ」会員

ですが、昭和五十九年に名称を「アートパーゴラ」に変えて再発足しました。会員は現在十五人で、主婦やサラリーマン、仕事を退職した人などさまざま。年齢層も二十代から六十代までといろいろですが、みんな絵が好きでたまらないという人ばかりです。カンバスに向かっていている時はいつも無心になっていて、身の周りの慌ただしさを忘れてしまっています。「絵の楽しみって何」って人によく聞かれるんですけど、カンバスに自然の美しさを再現することによって自分の心が洗われるような気がするんですね。絵を描くようになってから、今までになく見過ごしてきた周りの風景などの美しさにハッと気付いたり、感動したりすることがたびたびあります。



昨年春の展覧会場で(中央公民館)

そういう感動を素直にカンバスに表現できたらいいなと思っています。

待ちどおしい写生会

毎週水曜日に中央公民館に集まっているいろいろなモチーフを描いていますが、今年は毎月第三日曜日には屋外での写生会も計画していて、田代や小坂などへ出かけるのを今から楽しみにしています。このほか会員同士の親睦を深めるためにキリタンポ会をやったり、合評会を開いたりもしています。みんな何でも言い合える素敵な仲間たちです。会員のなかには秋田県職場総合美術展や日本版画院展などに出品して入選した人もいます。今年も六月に「春の展覧会」、十一月に「秋の展覧会」を中央公民館で開く予定ですのぜひ見に行ってくださいね。

館山発 → 大館着

前略

大館市民になりました

36

☆今回は常盤木町にお住まいの藤島好仁さんご一家です。Q・ご家族は何人ですか?

妻の純子と二人です。

Q・どちらからおいでになりましたか?

昨年の九月に千葉県館山市から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか?

水がうまいと思いましたね。カルキのにおいが無くてごはんがおいしく炊けるのがいいですね。それに、二人でよく出かけるんですが、スキー場が近くにたくさんあるので喜んでいきます。それと、大館の人の心のあたたかさを感じました。近所の人が気軽に声をかけてくれるのでほっとすることがあります。

Q・食べ物や言葉はどうですか?

大館はキノコの種類が豊富ですね。みそ汁などにいれて食べるんですが、おいしいですね。野菜も新鮮でうまいし、「葉がついてる大根を売ってる」と言ったら喜んでくれます。私は鷹巢の出身なので言葉は大丈夫ですけど、秋田弁で話すと妻は時々分からないことがあるみたいです。

Q・大館にどんなことを望みますか?

テニスをよくやるんですが、スポーツや運動ができて、野外コンサートなども開ける多目的に使える施設がほしいですね。そこに宿泊もできたらいいと思います。それと、通勤で国道103号を通りますのが、渋滞しますので早くバイパスが開通するのいいですね。



好仁さんと奥さんの純子さん